平成29年度			車怒耳	F業評価表 A (平成289	年度 の実績評価)		八十万口		
+1×25+1×2			= 177∃		一及 ○大順計画)	$\overline{\Psi}$	成 29 年	4 月	3 ⊟
事務事業名	地産地消	世冼車業			事業区分	担当			
争协争未行	地连地舟	推進爭未			新規/継続	継続	事務事業No.	0501040	000854
	政	策体系上の			単独/補助	単独	所属課	0501	101
政 総合計画の施策名 O5O1 農業の振興 策 政策名 O5 魅力と活力のある産業社会づくり					主要事業			農林課	
策 政策名	05	魅力と活	力のある	る産業社会づくり	市長マニフェスト				
体施策名	01	農業の振り	興		未来PJ事業	対象	グループ	農政	[G
系 基本事業名	04	農業の魅力	力発信		合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け 事業期間									
予算科目 会計 款	! 項	目 事業	細	一般会計	単年度繰返し		年度~		
01 0	6 01 0	03	00	特産物振興事業	□→期間限泵	定の場合、総	投入量を(3))投入量のを	5側に記入
法令根拠									
【Do】 1. 事務事業	の現状把握	(その1)							

(1) 事務事業の概要

段

- ①事務事業の概要(事務事業の全体像)
- ・地元で生産された農産物等の消費拡大を図るため、農産物直売施設等の支 援、協力を行う。
- 地元農産物のPR普及活動および各種イベント等へ積極的に参加をする。 ・食育普及事業との連携による事業の推進。
- ・地場産パン・めん用小麦(ユメシホウ)の生産・消費拡大のPR活動。
- ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
- 市民祭等における農産物のPRおよび販売(特にユメシホウを使った 加工品)
- ブランド化に伴う「黒こだまスイカ」のPR活動(県知事への表敬訪) 問)
- 各種イベントへの参加に伴う、事務および事業推進の協力

(2)	事務事業の手段・	・対象・	意図と各指標、	指標値の推移

(2)事務事業の手段・刈家・息図と合指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標	(活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
	PR活動及び	イベントへの参加日数	В	8.00	10.00	10.00	10.00	10.00	
・市民祭・県西農産物フェアにおける地元 農産物のPR販売活動の実施。・その他イ				0.00	0.00	0.00	0.00	0,00	
ベントのすみだまつり・下館駅前フェスティバルに参加し、農産物販売を行った。・黒こだまスイカの知事表敬を実施。				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
677 17307 に手込動と大力は 。				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標	(対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
	直売所数		箇所	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	
• 市内直壳所数				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標	(対象における意図の達成度 を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
・新鮮な農産物を提供することにより、消	市内で生産されています。市民の割合	れた農産物を購入している	%	56.30	57.00	55.80	57.00	57.00	
・利鮮な長性初を提供することにより、消費者の関心が高まり地域内の活性化につながる。				0.00	0.00	0.00	0.00	0,00	
12 00				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(3) 投入量(事業費)の推移	投入量(事業費)の推移 27年度 28年度		29年度	Ę (30年度	31年度	- 期	間限定	

((3) 投入量(事業費)の推移			准移	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	総投入量
				m			(計画)		(日標)	総 技 人 重
			国庫支出金	千円	0	0	Ü	0	Ü	Ü
		財	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
投	事	源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	事業	内	使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
	費	訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
入			一般財源	千円	100	100	700	700	700	0
		I	業費計(A)	千円	100	100	700	700	700	0
	人	Œ	規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	0.00人	
量	件		述べ業務時間	時間	370.00	450.00	360.00	360,00	0.00	
	費		(件費計(B)	千円	1,073	1,305	1,044	1,044	0	
	T		ルコスト(A)+(B)	千円	1,173	1,405	1,744	1,744	700	
			28	3年度事業費	実績(千円)			29年度事業費	予算(千円)	
	18	備品	購入費	100			11 需用費	600		
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	107 124				18 備品購入費	100		
事							. O MODOMIST COC			
業										
費	-									
\mathcal{O}	-									
内	-									
訳	<u> </u>									
	_									
	-					100				700
					함 合	100			습 計	700

(4) 当該年度の実施内容 ※下記に該当する事業は、年

- 度ごとに事業内容を記入する

- 合併建設計画事業
- ・主要事業・市長マニフェスト · 未来PJ事業
- ・地産地消検討会議の開催・ブランド化 ・地産地消快前去議の開催・フランド化 に伴う「黒こだまスイカ」のPR活動 (知事表敬訪問)・地元農産物のPR普 及活動(各種イパントにおける販売)・ユメ シホウ(桜川市産パン・めん用小麦)の PR販促活動

29年度の事業内容

- 30年度の事業内容 ・地産地消検討会議の開催・ブランド化 に伴う「黒こだまスイカ」のPR活動 に守つ「無こになる」のにいいます。 (知事表敬訪問)・地元農産物のPR普及活動(各種イドントにおける販売)・ユメシホウ(桜川市産パン・めん用小麦) のPR販促活動
- ・地産地消検討会議の開催・ブランド化 ・地岸地消快的云磯の開催・クノクト化 に伴う「黒こだまスイカ」のPR活動 (知事表敬訪問)・地元農産物のPR普 及活動(各種44、小における販売)・ユ メシホウ(桜川市産パン・めん用小麦) のPR販促活動

31年度の事業内容

事務事業名 地産地消推進事業	事務事業No.	50104000854	所属課	農林課
【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2) 【(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたの	か? 開始時期ある	いは5年前と比べてどう	変わったのか?	
・食料自給率が低迷し、食の安全・安心についてクローズアップされてき			2,7,2,2,7,3	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者) ・国、県をあげて食料自給率アップの対策がとられてきている。	からどんな意見や	要望が寄せられているか	?	
・住民の食の安全・安心への意識はかなり高まってきている状況である。				
(7)前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容				
・農産物のPRに工夫を凝らし、インパク			である。	
・昨今では、海外に向けての販売も始ま: ・農産物の普及については、一気に広がる				
・ブランド化についても、生産者も高齢で				のは難しい。
改革改善を行う				
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。 評 価	項目			
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意		びついているか?)		
B				
的	につながるため妥当	じある。		
妥 ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金?	を投入して、達成するE	目的か?)(法定受託事業は	はその名称)	
性	振興 レたフセ はご ツ			
	振興となるにめ妥当	(じめる。		
③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とある/	べき水準との差異はない	Nか?何が原因で成果向上た	が期待できないのか	'?)
「向上余地がある ・地産地消のPR活動をより効果的に推進す	マーレで羽知舟の広	トを回ることができる		
・地産地消のPR活動をより効果的に推進す	ること (画和長の円	工な図のCCV, (90°		
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無	とその内容は?)			
有	在音効の低下の恐わ	がある		
性	注意の(2)図 (2)心(1	11.00°Co.		
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありま	すか?(市以外の取り	組みも含む))		
(他に手段がある場合) 二 具体的な手段、事務事業名				
・現状総合計画の中で分類されているため、	類似事業がない。			
	ゆりたたエキレ フで		=(\+\O\	
⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?		(八美務事業を削減できる	\$(1/0,5)	
・最低限の事業費で実施しているため難しい	•			
「	<u></u>) 巫 * 孝 各 わ が ハ 亚 ・ ハ エ に	た- テハスかの)	
	「て不公平ではないか」	~安益有貝担/J*公平•公正K	-なっ (Nan ?)	
平性 公正・公平である ・市内の地産地消を推進しており、受益機械	は均等であるため公	:平である。		
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)			
	全体総括(振り返り)、反省点)		
		農産物フェア」、「市民		まえ・駅なかフェス
		JのPR販売を実施した。 「黒こだまスイカ」の県外		≧施した。
		し、より一層PRの強化		
④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり				
(3) 今後の事業の方向性			(4) 75+	30年にトラザイナロ
				改善による期待成果 ・休止の場合は記入不要)
	の再設定 生の改善 □		(mc 3 7/6II	コスト
	全ができる 🗆			削減 維持 増加
· ·			向上	0
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策・効果的な事業とするために、PR活動実施の回数を増やす。			成維	
・既存のイベントだけでなく新たに参入できるイベントを探し、実施体制なる	ビを検討する。		果 持	
・市内の特産品を明確にし、強化すべきポイントを検討する。			低下	
			(6)事務事	業優先度評価結果
			成果優先度評	価結果
			コスト削減優先	上度証価結里
【Chook】 4 陳邦及びカサカギにウルテムや埼末を				い父の丁川山市の木
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 【(1) 課長評価 (2)	部長確認及び評価	西 (課長評価により、	C、D判定及7所	室認が必要な場合)
理트來認後介証佈	5.51-255.515 511			_ 22 0 0
在	記欄			

B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出